

美郷がいちばん、好きです美郷

ふたし 議会だより

第14号
2008.1.16

12月定例会

水道工事を追加	12月定例会概要	2
(株美郷の大地 指定管理者に	主な質疑	4
活発な意見交換行われる	住民と議会との懇談会	6
議会基本条例を研修	議員研修報告	8
農業振興待ったなし	一般質問	10
家族に感謝	キラリ美郷人	16

「一字一字に願いを込めて」

1月6日、仙南交流センターでの書き初め大会より

住民要望に応え

水道工事を追加

美郷町には地下水に恵まれない地域もあります。
大切な水資源を守り育てたい。

今 定例会では、「平成十九年度美郷町簡易水道事業特別会計補正予算」に1千362万9千円を追加し、歳入歳

出予算の総額をそれぞれ5億333万1千円としました。

これは、日常生活に困窮する六郷東根地区の要望に応え追加工事を行うもので、この補正により今後行われる水道施設工事額の合計が2千173万2千円となりました。追加工事箇所は、一ツ屋・七滝・細田・紀の国地域内です。

また、定例会終了後に行われた議会全員協議会では、東根地区住民の簡易水道事業への意向調査結果と、生活用水の確保に困窮する地域を優先した、来年度以降の工事計画案が示されました。

人事院勧告に準じ改定

条 例改正では、平成十一年以降8年ぶりに引き上げとなる町職員の給与改正案「美郷町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について」が提出され、賛成多数で可決しました。



主な内容は、人事院勧告に準じて給料表を改定するもので、美郷町では34歳位までの若年職員の給料が月平均1、260円ほど上がります。また、子供などに対する扶養手当が月額6、000円から6、500円になりました。

しかし、人事院が勧告した平成十九年四月一日への遡及と、期末手当の引き上げは見送られました。この条例の施行は平成二十年一月一日となります。

その他、「平成十九年度美郷町一般会計補正予算」に1億1千533万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ11億5億2千897万5千円としました。

年頭の所感



美郷町議会議長 伊藤 福章

新年あけましておめでとございます。平成二十年、年頭にあたり謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

一昨年からはじめました住民と議会との懇談会、昨年は一回目を上まわること参加を頂き、活発な意見を交換して頂いたことに感謝とお礼を申し上げます。懇談会では、町の財政、特に実質公債費比率の上昇について、ご心配を頂く声が多くございました。

この度の上昇要因は、算定方式の見直しによって算入範囲が広がったことなどによるものであり、二〇〇八年度決算から適用の自治体財政健全化法では、自治体の破たんを未然に防ぐため財政状況を住民や議会に対しても公表するよう義務付けられたところであり、新指標に於いても、町民皆様に不安の無いよう一層のチェックに努めるとともに、財政の規律を図ってまいります。

今年度は千（ねずみ）は、大黒天の使われしめであり、ねずみ算といわれるように「生み、育て、増やす」の意味も含まれ、千は縁起のいい歳といわれております。景気の先行き不透明感が増している昨今ですが、千年にちなんで、町民皆様には等しく最良の年になることを祈念申し上げます。

議会改革議会全員協議会

11月26日、議長召集の議会全員協議会が開かれ、議員定数などの議会改革協議がスタートしました。今回話し合った内容を報告します。

協議事項

- 全議員の意見を集約し平成20年9月末まで結論を出す。
- 名称を『議会改革議会全員協議会』とし座長は議会運営委員長が務める。
- 協議会の開催月は定例会以外の月とする。
- 議会運営委員会は協議会の日程調整や配布資料の検討を行う。
- 議員定数の削減、費用弁償の見直し、代表監査委員臨時会出席要請の可否を決める。また、今後の議会運営についても協議する。

※実質公債費比率

税金や地方交付税などのうち、何%が借金の返済に使われているかを示す数値。平成18年度から使用されるようになった新しい指標で、過去三年間の平均値。

『(株)美郷の大地』 指定管理者に



現在建設中の堆肥センター

◆指定管理者について
議員 アクティビティセンター、堆肥センターの指定管理者の指定にあたり審査の内容は、
農政課長 (株)美郷の大地の経営理念や経営方針、利用者に対するサービス

ビスなど年間の事業計画を審査した。
議員 代表者の氏名は、
農政課長 畜産団体代表の深沢誠氏である。
議員 株式会社となっているが出資額と主な株主は、
農政課長 一口5万円の株で1、805万円の資本金総額だ。美郷町が最大の出資者だが、おほこ農協、ふるさと農協、畜産団体、それにおほこ農協管内各支店の園芸振興協議会も出資している。

◆工事請負契約について

議員 六郷東部水道事業で、一ツ屋橋の耐震強度など調査はしなかったのか。
建設課長 橋は昭和41年架設で古く、砂防指定の高さや強度など水道施設の添架に向かないと県の指摘を受けた。
議員 一ツ屋橋は老朽

◆職員給与に関する条例の一部改正

議員 今回の給料手当の改正に伴う財源は。また職員の適正人数をどの様に考えているのか。
総務課長 普通交付税をあてる必要額は52万円ほどだ。目標人数は220名〜225名である。
反対討論
熊谷良夫議員 合併してから、各利用料金の値上げなど町民負担が増えている。財政計画が示されないまま、職員給与を上げる事には反対だ。

一般会計補正予算

議員 灯油が高騰している。県の調査報告の内容と町の対策は。
総務課長 県の調査は、町の対策を問う内容だった。他の自治体の動きを見て対策を考えていく。
議員 臨時職員数が多い。その配置内容は。
総務課長 幼保施設、公民館、学友館、学校、ユートピアなどで年間を通しての人数だ。
議員 これまで臨時職員に労災保険をかけていなかったのか。
議員 羽貫谷地区の水道で新規加入の要望にどう対応するか。
建設課長 今の計画では既存の本管に接続する考えだ。新規の加入要望については検討する。
町長 昨年から調査をしているが、他の水道路線を含めて、コストパフォーマンスに優れた方法での供給を考えていく。

簡易水道事業特別会計補正予算

議員 羽貫谷地区の水道で新規加入の要望にどう対応するか。
建設課長 今の計画では既存の本管に接続する考えだ。新規の加入要望については検討する。
町長 昨年から調査をしているが、他の水道路線を含めて、コストパフォーマンスに優れた方法での供給を考えていく。

人事

【固定資産評価審査委員会委員の選任について】
委員の任期満了に伴い、次の方々を再任しました。
委員の任期満了と辞任に



藤田 智氏 (上野荒町) 小西 弘蔵氏 (米町) 泉 龍弘氏 (下畑屋)

【人権擁護委員の推薦について】
委員の辞任に伴い、次の方を推薦しました。
委員の任期満了に伴い、次の方々を選任しました。



吉水 是眞氏 (東高方町)



新任 高橋 郷氏 (本道町)



再任 照井 成一氏 (後三年)

陳情・請願

不採択としました

後期高齢者医療制度に対する政府・厚生労働省への意見書の提出を要請する陳情書について
秋田県社会保障推進協議会
会長 渡辺 淳

趣旨採択しました

後期高齢者医療制度に対する広域連合への意見書の提出を要請する陳情書について
秋田県社会保障推進協議会
会長 渡辺 淳

採択しました

法務局の増員に関する陳情について
全法務省労働組合東北地方本部
秋田地方法務局支部大曲分会
分会長 小野 剛

提出議案一覧

- 同意第1号 美郷町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
- 同意第2号 美郷町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
- 同意第3号 美郷町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
- 同意第4号 美郷町教育委員の任命につき同意を求めることについて
- 議案第65号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
- 議案第66号 美郷町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
- 議案第67号 美郷町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について
- 議案第68号・69号 指定管理者の指定について
- 議案第70号 町道の認定について
- 議案第71号 町道の変更について
- 議案第72号 町道の廃止について
- 議案第73号 工事請負契約の一部変更について
- 議案第74号 平成19年度美郷町一般会計補正予算第6号
- 議案第75号 平成19年度美郷町国民健康保険特別会計補正予算第2号
- 議案第76号 平成19年度美郷町簡易水道事業特別会計補正予算第3号
- 議案第77号 平成19年度美郷町下水道事業特別会計補正予算第3号
- 議案第78号 平成19年度美郷町農業集落排水事業特別会計補正予算第3号
- 同意第5号 美郷町教育委員の任命につき同意を求めることについて
- 発議1件

議会の動き

8月1日	28日	29日	30日	9月5日	11月30日	2月22日	3月19日	10月18日
議会広報特別委員会	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会
議会広報特別委員会	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会
議会広報特別委員会	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会

議会への意見・要望と回答 (◆意見・要望、◇回答)

- ◆議員定数削減の見通しは。
◇議会改革のため現在検討中で、20年9月まで結論を出したい。
- ◆全議案とも原案可決だが町との馴れ合いの結果ではないか。
◇真剣に議論し、その積み重ねでの原案可決で馴れ合いではない。
- ◆懇談会のやり方をもっと研究する必要がある。
◇次回の開催に向け検討する。
- ◆議会報に質問者の名前がなくなった意図は。
◇議員活動ではなく議会活動の広報であり必要ないと判断した。
- ◆サテライト六郷の役員に議員が入らない理由は。
◇議会が第三セクターの運営も審査するためだ。

町政への意見・要望と回答

- ◆第三セクターの経営状況は。
◇指定管理者制度を導入して経費の削減を図り経常収支は黒字だ。
- ◆学校統合は住民の意向が大事だ。また統合後の施設利用を。
◇学校統合は慎重に検討中で、今年度は「望ましい学校規模を考える委員会」をたちあげアンケート調査を行っている。
- ◆一部事務組合(介護施設)の経営内容は。
◇介護保険制度の改正で収入は減っているが実質収支は黒字だ。
- ◆公債費比率19.5%、経常収支比率93.3%では新規事業ができないのでは。
◇新たな地方債を抑えて利率が高いものを繰上げ償還し、経常経費の削減に努力している。
- ◆未納対策の考え方は。
◇新たに滞納対策班を設置し取り組んでいる。
- ◆合併後の公共工事が旧町村で不均衡だ。
◇美郷町全体を考え各種事業に取り組んでいる。
- ◆人口減少対策に企業誘致を。
◇重要課題であり今後、県・町と連携しながら努力する。
- ◆中心商店街の建て直しをもっと積極的に。
◇地販地消と観光資源の活用を検討中。町民の提案や参画をお願いする。
- ◆六郷陸上競技場を再度公認陸上競技場に。
◇他に優れた施設が整備され利用者が激減している。公認に向けては整備面からも難しい。(町の回答より)
- ◆後三年の合戦のPRを。
◇横手市と連携を図り、シンポジウムの開催や観光物産PRも含めて努めている。(町の回答より)
- ◆合併時に制定した木・花・鳥・魚のPRを。
◇パンフレットや封筒など印刷物への掲載を検討する。(町の回答より)
- ◇情報提供室(休憩室)やレストランでPRに努めたい。(雁の里せんなんの回答より)

他機関への意見・要望と回答

- ◆雁の里せんなんの『曲屋』の座敷一部が物置となっている。有効活用を。
◇早急に保管場所を確保し適正な有効利用に努める。(雁の里せんなんの回答より)
- ◆小作料と標準作業料金の見直しを。
◇平成20年に改定する方向で検討し、農業情勢を的確に把握して定めるよう努める。(農業委員会の回答より)

(掲載した項目は主なものです)

町の木・花・鳥・魚



赤松



ラベンダー



雁



トゲウオ



第2回 住民と議会との懇談会

活発な意見交換 行われる



有効活用が待たれる『曲屋』

10月24・25・26日の3日間にわたり、町内9会場で『第2回住民と議会との懇談会』を開催しました。その内容やその後の取り組みをご報告します。

この懇談会は、住民参加型の議会を目指して地域に出向き、町政や議会活動の状況を報告し提言・意見や要望をお聞きするために、昨年より始めました。

第2回目となる今年の懇談会には、昨年を上回る46名の住民の参加をいただき、活発な意見交換が行われました。また、町政や議会への提言・意見や要望も41項目にのびりました。

議会では、11月5日に全体検討会を開いて『町民の声』を共通認識し、関係機関への要望事項などを話し合いました。

12月4日、町や雁の里せんなんなど関係機関に要望書を提出し、12月14日に、回答をいただいています。

以下、懇談会会場で話し合われた主な内容や関係機関の回答を要約し掲載します。

神奈川県湯河原町を訪問(11月9日)



議会基本条例の説明を受ける

湯河原町は人口約2万8千人。全国に名高い箱根町と熱海市に隣接した歴史ある温泉町です。観光客は年間500万人を超えています。減少傾向にあります。

町財政では、町税が約50%（美郷町13・8%）と高比率でした。合併協議を隣町と進めましたが、市の名称で難行し、16年9月に不調に終わり、新たな町づくりに取り組みました。

◆湯河原町議会基本条例制定について
◆議会活性化として、行政監視機能と政策形成機能の強化をめざす。議会の役割と議員の責務、

町民の関係を明確にする。
◆これまでの、先例、慣例からの脱却と申し合わせ事項を整理する。
◆平成十七年六月から平成十八年十二月にかけて策定委員会審議を経て制定する。（平成十九年四月一日施行）
◆湯河原町自治基本条例について
あたらしい町づくりをめざし、十六年九月「あたらしい町づくり調査特別委員会」を設置する。

の町づくりを進める。
【内容】六章十八条から成る。（平成十九年四月一日施行）
【資料より抜粋】
議会基本条例と自治基本条例を同時に制定、施行した効果はこれかと思われませんが、議員の認識と意識改革が進んだというお話でした。背景には、きびしい財政認識があり、制定後は各地からの視察が多いそうです。
この視察を今後の美郷町の活性化に生かしたいと思われました。



菖蒲太鼓保存会による演奏

流を深めてきました。今年、JA・商工会職員や組合員と会員、直売所などで特産品の製造販売を手がける方々、菖蒲太鼓保存会、町観光協会のミス清水など約50名が参加しました。平和島競艇場内に設けられた美郷町販売ブースでは、新鮮な野菜や果物をはじめ、漬物、あきたこまち、清酒、食品加工品などが並べられ、買い求める大田区民で賑わっていました。
正午から特設会場で開催されたオープニングセレモニーでは、菖蒲太鼓保存会による「後三年の役合戦太鼓」が披露され、会場の雰囲気盛り上げることに、本町の歴史を紹



オープニングセレモニーでの大田区長の歓迎挨拶

視察2日目は、美郷町と友好都市提携・防災協定を結んでいる東京都大田区で開催中の「OTAふれあいフェスタ2007」に参加しました。

このイベントは、大田区の商店街や市民グループなどが参加して催される区の最大行事で、今年で18回目を迎え、毎年30万人を超える来場者があるそうです。

大田区との交流は、六郷町と大田区六郷地域という同じ「六郷」地名から始まりました。西六郷少年少女合唱団の来町公演もあって、平成3年からは、4月開催の「大田区子どもガーデンパーティー」に本町児童が参加しています。また平成6年から毎年「OTAふれあいフェスタ」に参加し、特産品販売や観光PRなどを通じて交

介した大変すばらしい演奏でした。
今回の視察では、美郷町産の特産品に対する大田区民の関心の高さに驚かされました。毎年、心待ちにしている人もいます。
今後の大田区との交流を、年間を通じた美郷町産物の販売市場と捉え、67万大田区民を対象に事業展開できる可能性を実感した研修視察でした。



大田区民で賑わう美郷町物販ブース

美郷産物販売市場の可能性を実感

OTAふれあいフェスタに参加(11月10日)

一般質問

町政を問う

農業振興

待ったなし

今定例会、8人の議員が登壇し行われた一般質問。質問事項は15項目にのぼり、4議員が農業問題をたざした。

質問者

- 武藤 威 議員
- 森元 淑雄 議員
- 吉野 久 議員
- 戸沢 藤一 議員
- 深沢 義一 議員
- 高橋 正治 議員
- 鈴木 良勝 議員
- 熊谷 隆一 議員

(質問の掲載は順不同です)

有機農業のモデル指定を 売れる米を支援する

議員 J Aおぼこ主催の食味向上を目的とし任命した10人の「おぼこの匠」の中で、9人が美郷町の農家だった。当町で減農薬・減化学栽培が進んでいる証拠だ。



戸沢 藤一 議員

一体となって受け、魚沼産のコシヒカリ並みの米価を目指す絶好の機会ではないか。

町長 あきたこまち米のブランド力が年々低下している中で、町では市場ニーズに応じた売れる米づくりを支援してきている。減農薬・減化学栽培は、335軒作付けされているが、今年は45軒を美郷こだわり米元気事業の対象とし助成した。

国では、農薬や化学肥料、遺伝子組み換え種子を使用しない有機農業総合支援対策を計画しているが、ハードルの高い栽培体系であり関係農家の意欲が重要と考える。

火災報知器への補助

議員 消防法が改正され、一般家庭でも火災報知器の設置が義務付けら

れた。町営住宅の設置状況はどうか。また、老人世帯への火災報知器設置費補助金を要望する。

町長 町営住宅では、塚住宅8戸に設置されているが、その他は未設置なので補助事業を活用しながら設置したい。

アクセス道の拡幅

議員 大台野広場へのアクセス道の拡幅と、あじさい園など事業継続を望む。

また、みずほの里ロードの県道昇格と案内板の設置を望む。



大台野広場へのアクセス道

町長 拡幅は、みずほの里ロードからの利用をメインに考えた整備を検討したい。千畑カントリーパーク事業はほぼ完了

し、今後適切な管理運営を進めたい。町道が地方交付税の対象となり県道昇格は必ずしも有利ではない。案内看板は、町全体の整備の一環として考慮したい。

複合経営が 不可欠だ

今後進める

議員 国内の個人消費の減退やWTO農業交渉の先行き不安など、米を取り巻く状況が一段と厳しさを増す中、本格的な複合経営への取り組みが集落営農、組織営農でも不可欠だ。複合部門への推進に向けた町の取り組みをうかがう。

町長 町でも、農業所得の向上による経営安定は大きな課題だ。主たる農業従事者の、一人当たり360万円所得を実現するため、経営規模別に20のモデル指標を示し、県の農業夢プラン応援事業の活用指導と

調整助成、町独自のブランド品目付支援事業や農業マイスターによる技術指導、産地作り交付金として出荷額の5%以内をめどにブランド品目出荷助成を実施している。また仙北地域振興局の仙北農業チャレンジプランに町職員を派遣し、県と一体となって取り組んで

通年物産交流を

議員 友好都市東京・大田区と、美郷産米や野菜、果樹などの積極的な通年物販交流を確立すべきだ。

町長 これまで「大田ふれあいフェスタ」に合わせ特産品や農産物の販売

をしながら、持参商品は毎回完売している。通年で流通させるには、流通経路や販売方法は、販売品目などの仕組みの構築と生産量の確保、栽培技術の統一などの取り組みが必要だ。地元の農業団体、業者と共通認識を醸成するとともに役割分担を明確化させ、出来ることから取り組み意識でその仕組みを構築したい。



深沢 義一 議員



シイタケ栽培

新たな医療制度への対応は周知に努める



武藤 威 議員

議員 新制度に不安要素が多く、対応は十分か。後期高齢者医療制度の対象者数は、支払能力により、滞納者の増加と、受診回数を減らす住民が多くなる

町長 今後の医療費増に対し、国民皆保険制度を持続可能とする法改正がなされた。住民の負担能力を勘案し、共に支え合う制度だ。福祉保健課長 対象者数の見込みは、4,097人だ。所得に応じた軽減措置があり、激変緩和策な

議員 利用客の増大を図るため「みずほの里ロード」からの道路整備が急がれる。案内板の設置

大台野広場の公認申請を



大台野広場グランドゴルフ場

町長 利用者は増加傾向と、グランドゴルフ場の公認申請をして、大会を増やすべきでは。

町長 温泉職員は、お客様様の体調変化に備えた準備や活動をしており、経営面からも新たな配置をする状況ではない。また、町の保健師配置も、現職員数で遅滞なく通常業務を遂行する上で困難だ。



熊谷 隆一 議員

環境教育をどう進めるか

議員 ゴミの有料化や県の森林環境税など、環境に対する個人負担が求められる時代になった。

町長 ①町の環境条



トゲウオ勉強会より

町長 ①町の環境条

町長 ①町の環境条

町長 ①町の環境条

大田区民へおいしいおこめを大田区へ依頼した

議員 今年の一万円米価は、農家の営農と生活に大きな影響が出ているし、地域経済にもダメージとなっている。①先般のお米コンクールで米の匠の9人が美郷町

議員 付加価値を生む、農産物加工に力を入れる

町長 ①毎年大田フェスタで農産物のイベント販売をしてきたが、今後は通年あるいは定期的な販売ができないか、大田区へ依頼して来た。②堆肥センターでは、良

町長 ①毎年大田フェスタで農産物のイベント販売をしてきたが、今後は通年あるいは定期的な販売ができないか、大田区へ依頼して来た。②堆肥センターでは、良

町づくりにバイオ産業を活かせ 現段階では課題がある



稲のホールクローブサイレージ



高橋 正治 議員

議員 米価低迷や後継者不足、生産費高騰などの流れの中『飼料稲

町長 飼料稲

特産品開発課設置を望む

議員 付加価値を生む、農産物加工に力を入れる

温泉に保健師配置を

議員 温泉施設に、健康

町長 町が母体となつての特産品開発は、年々縮小する職員と財政規模から着手できる状況ではないが、関係団体の相談機能と各種支援制度の充実強化を図りたい。

町長 温泉職員は、お客様様の体調変化に備えた準備や活動をしており、経営面からも新たな配置をする状況ではない。また、町の保健師配置も、現職員数で遅滞なく通常業務を遂行する上で困難だ。

国体経験を活かした合宿誘致を 誘致に努める



鈴木 良勝 議員

議員 国体開催では、リリオスや自転車競技場を新設し、ボランティア組織の育成や民泊など様々な準備作業を推進した。今後、この施設や組織を活用すべきと考え提案する。
良好な環境や整備さ

町長 提案趣旨は「人がふれあうまち」を目指す町づくり目標に合致する。しかし、民泊での継続的受け入れは、旅館業法の対象となり保健所許可も必要だ。趣旨を活かすならトレーニングセンター六郷の活用が

町長 提案趣旨は「人がふれあうまち」を目指す町づくり目標に合致する。しかし、民泊での継続的受け入れは、旅館業法の対象となり保健所許可も必要だ。趣旨を活かすならトレーニングセンター六郷の活用が



を進めていく。地方交付税などの歳入減の状況は続いていくので来年度一般会計歳出は4%減の考えだ。経常収支比率93.3%を維持したい。実質

公債費比率は平成23年度18%を目標にする。
②税負担の公平性を図るため、滞納対策班などにより解消を図る。各イベントの入場料については支出経費を勘案し模索検討する。

③これまで12回庁内検討している。年度末までまとめ、議会・町民に提示する。20年度は個別の検討に入る。
④⑤5項目の重点的な町づくり方針に基づき予算編成する。

二、地域資源の維持保全活用に関する取り組みの推進。
三、安全、安心に繋がる各種制度、施設の構築及び整備の促進。
四、同類行事の集中と選択の観点での統合化。
五、基存整備施設の活用促進。



スポーツ少年団の活動認識について 重要視している



森元 淑雄 議員

議員 スポーツ少年団活動は、その理念に沿って、心身の健全化と社会性を身に付けるものになっていくだろうか。少年団の育成と指導者の確保、育成に本部機能が積極的に関わるべきではないか。

教育長 本町には35団体あり、指導者は275名、団員は703名である。指導者、団員、共に減少傾向にある。町として、団の交流促進、資格受験費用、選手派遣費用、バス輸送などの支援をしている。諸課題には、講習や、地域、学校との話し合いにより、解決の道を探りたい。



町長 減量化、資源化を

議員 ゴミ処理費が増加している。住民参加型により、リサイクルを基本とした減量化をすべきだ。

推進するため、一部有料化を実施し、マイバック持参、再利用、再使用を推進する。また、古紙類の通年回収のリサイクルを広報などにより周知徹底する。

新年度予算― 松田色をどう出す 5つの基本方針に 基づき編成



吉野 久 議員

議員 平成20年度予算編成の時期を迎えている。これまでの3年間で合併後の各地域の課題解消や継続事業はほ

ぼ終了したと思える。今年6月には『財政健全化法』も成立しており、その指標にも配慮した行政改革の推進は必要だが、美郷町の更なる躍進をめざして、予算編成に松田色を出すべきと考え、次の5項目についてうかがう。

①行政改革の取り組みと財政指標の達成目標は。
②滞納解消努力や各イベントでの入場料徴収など、歳入伸張の取り組みをどう図るか。
③公共施設の再編にあたり、全体計画と年次計画の公表は早めに。

④投資的経費予算は限られている。重点配分する考えはあるのか。
⑤松田色を予算に反映するべきだ、町づくり方針についてうかがう。

町長 ①行政経営プランに基づき、行政改革

地方交付税と財政の見通しは

議員 地方交付税は、平成12年度70億円交付されていたが、18年度では53億円と25%カットされている。
来年度の見通しについてうかがう。

町長 国の予算編成では、交付税は当初4.2%減であったが、関係5団体で充実強化策を要望している。
町の予算編成では、経常経費の削減に努め、バランスを重視し、2億5千万円減で作業中である。

キラリ

シリーズ

美郷人 VOL.9



家族に感謝

雁の里コーラス
代表
中村 裕子さん
(美郷町飯詰在住)

◆問合せ先
仙南公民館
TEL.0187-83-2280

昨年の12月22日、仙南公民館ホールを会場に『雁の里コーラス・20周年記念コンサート』が開かれました。この節目のコンサートを終えた感慨を、代表の中村裕子さん（美郷町飯詰）にお聞きしました。

「63年9月、わずか6人の仲間が始まったコーラス活動は、生涯学習ともなり多いときで30人の会員となりました。現在は、15人で活動しています。」

「この20年間の活動では、毎年、後三年更生園祭で歌わせていただきました。また、旧仙南村で行われてきた屋外コンサートでは、ボニージャックスやダ・カーポ、ビリーバン

バンと共演しました。そして、旧仙南村役場の男性職員の協力を得て、秋田県民芸術祭や大曲仙北合唱祭に参加しています。」

「ここまで続けてこれたのは、沢山の方々のご協力やご支援の賜と思っております。そして、何よりも家族の支えと励ましのおかげと感謝しています。」

今回の記念コンサートでは、八郎潟ができた由来を民話風に描いた絵本・読み聞かせ『八郎』にコーラスを取り入れたところ大好評だったそうです。「ご希望があれば、いつでも公演しますので声をかけてください」とのこと。

編集後記



議会特別委員会報

畑違いとは良く言いますが、九月議会の広報委員交代により、今迄と全く違う分野に携わることになりました。

新しい畑の作物はスクスク成長するはずですが、オロオロ、ウロウロ。仲間の足を引っ張らないよう、また、町民に分かりやすく、親しみやすい広報作りに心がけ、一生懸命頑張るのみです。今後共よろしくご慈愛の程。

高橋正治

- | | |
|------|-------|
| 議長 | 伊藤 福章 |
| 委員長 | 吉野 久 |
| 副委員長 | 高橋 正治 |
| 委員 | 熊谷 隆一 |
| 委員 | 鈴木 良勝 |
| 委員 | 熊谷 良夫 |
| 委員 | 戸澤 勉 |

次回定例会は、3月上旬の開会を予定しています。傍聴を、お待ちしております。

美郷町議会事務局

〒019-1541 秋田県仙北郡美郷町土崎字上野乙170番地10(美郷町役場・千畑庁舎)
TEL.0187-84-4912 FAX.0187-85-3102 E-mail gikai @ town.misato.akita.jp/

美郷町ホームページ <http://www.town.misato.akita.jp/>